

令和元年度 日野南地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

日野地区、日野南地区ともに地域福祉計画を意識し、子どもと高齢者の交流や高齢者を孤立させない活動が積極的に展開されている。見守りや防災に関する関心も高く、要援護者支援においても民生委員だけに負荷をかけず隣近所で助け合わなければならないという気質も備えている。一方で8050問題を含む潜在化したニーズや個別課題が見えにくく、ケアプラザ(地域包括支援センター等専門機関)につながる相談件数が高齢化率等から見て少ない傾向がある。
相談件数が少ない理由としてケアプラザの機能が地域全体に十分に周知されていないと考える。個別ケースの地域ケア会議の開催数が少ないことも個別課題や潜在化したニーズ把握につながらない要因になっている。専門職のスキルアップも含めてこれらの強化を行う。

今年度の重点的な取組

| 新規 | 継続 | —具体的な取組内容— |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザが身近な相談機関であることを周知する。 ・内部会議、区カンファ等の既存の会議を活用し地域課題の整理をする。 ・課題(ニーズ)に合わせた情報提供を個別支援、既存の地域会議等で行う。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <ul style="list-style-type: none"> ・所内で連携して社会資源の情報を収集しマップに落とし込む。 ・地域のイベントや意見交換会等で、マップにシールなど目に見える手法を使って、参加者から地域課題や社会資源に関する情報や意見を収集する。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や利用団体が活動できる場を施設内外に開拓する。 ・広く多くの方が活動に関心を持ってもらえるよう広報や館内掲示だけではなく、ホームページ等ソーシャルネットワークを活用する。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <ul style="list-style-type: none"> ・包括が中心となって個別課題を挙げ出し地域ケア会議を開催する。 ・地域ケア会議を通して他職種連携・役割分担を実践し、経過の共有、解決に向けた具体策を話し合い方向性を合わせる訓練を積む。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援者による多職種が多角的視点から個別ケースを検討する機会として「地域ケア会議」を積極的に開催する。 ・個別ケースの地域ケア会議を積み重ねて、多職種および関係機関で役割分担、連携を強化する。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

個別相談や地域づくり会議、コミュニティの立ち上げ等を通して、ケアプラザの機能の理解はゆるやかに進んでいるが、直接関わる機会のない地域住民にケアプラザの存在と機能の理解を進める具体的な手段を検討する必要がある。その中で、発達障害や8050問題を取り上げた講演会を通して当事者・家族がケアプラザを知りつながったことは成果といえる。また、地域からの「やりたい」「こんな居場所がほしい」という声に応え、ケアプラザの機能を活かした情報提供等の後方支援や場所や人をつなぐ役割を果たすことが出来た。地域主体の社会資源に足を運び、Ayamuの整備に向けた情報整理(社会資源の可視化)が進んでいる。児童・生徒を対象とした認知症サポーター養成講座も積極的に行い、幅広い世代を対象とした認知症理解に努めた。個別相談の課題からネットワークの構築を目的とした地域ケア会議を開催し、他職種や地域住民との連携に取り組んだ。次年度に向けて、地域から信頼され安心して利用できるケアプラザを目指し専門職の体制整備に努め、様々な地域課題解決のための連携強化を進める。

区からのコメント

今年度、8050問題を取り上げた講演会を実施することで、地域の皆さんに知ってもらうこと、当事者・家族がケアプラザを知ってつながりができたことは、良い成果になりました。次年度以降も、地域の中では話題になりづらい課題も発信していくなど、継続的に取り組んでいただくことを期待しています。
また、地域の中で若い世代を中心とした活動が動き出し、多世代交流ができる居場所の開設が期待されています。
一方で、職員体制については課題もありました。より地域に信頼される地域ケアプラザにしていくためには、各職種と地域の皆さんとの関係性が重要ですので、安定した職場運営ができる体制の構築に努めてください。